

保護者様

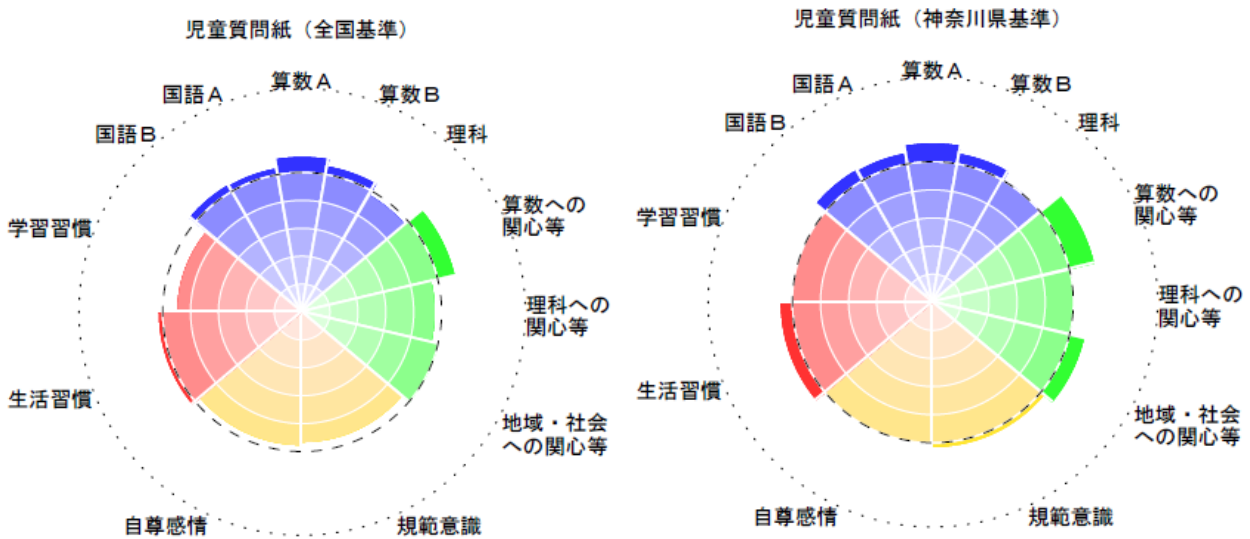
横浜市立鴨志田緑小学校
校長 小倉 早苗

平成30年度

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われた全国の6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果及び今後の指導の方向性がまとまりましたので、お知らせいたします。なお、今回の調査により測定できているものは、学力の全てではありません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をさらに伸ばすために、教職員一同、引き続き指導・支援をしてまいります。

1 調査結果 (内側点線=全校平均または神奈川県平均)



2 教科の学習内容

国語A・B、算数A・Bともに、全国平均、神奈川県平均を上回る結果となりました。理科については、平均程度の結果となりました。調査結果を受けて、本校における今後の取り組み（指導の継続・改善）の方向性についてお知らせいたします。

国語

- ・漢字の読み・書きは、日々の授業や家庭学習において、継続的な指導を心掛け、授業内における小テスト等を実施し、基礎基本の一層の充実を図っていきます。

- ・本校の重点授業研究（国語科）を中心に、自分の考えを広げたり深めたりできるように、相手意識・目的意識をもち、友達とかかわり合いながら伝え合う授業展開を目指していきます。
- ・特別活動（学活）の学級会との関連を図り、目的に沿って計画的に話し合いを進める経験を増やしていきます。
- ・ICTを積極的に活用し、視覚的に場面の移り変わりや登場人物の心情変化、要旨を捉えられるように引き続き「分かる授業」づくりをしていきます。

算 数

- ・整数、小数、分数の基本的な計算のより一層の定着を図るために、既習内容の振り返りを行ったり、練習問題を行う時間を確保したりしていきます。
- ・ICTを積極的に活用し、図形等を拡大提示することで、作図の方法や面積の求積方法、図形の構成要素の位置関係等を視覚的に分かりやすくしていきます。
- ・一昨年度までの算数科研究の成果を継続して授業に生かし、授業の流れを児童に分かりやすく示したり、めあてに沿った問題解決型の学習展開を工夫したりして、引き続き分かりやすい授業づくりに努めてまいります。

理 科

- ・実験の「めあて・実験（観察）方法・予想・実験（観察）の記録・考察・まとめ」の流れを明確にし、見通しをもって活動し、実験や観察の方法や結果について振り返ることを大切にしていきます。
- ・さまざまな実験器具を正しく使い、体験的に学習の理解を定着させるように授業展開を引き続き充実させていきます。
- ・身近な自然事象との結びつきを考えながら活動に取り組めるように、単元の流れを工夫し、実感をもった理解の定着をめざしていきます。
- ・基本的な理科的な用語について、しっかりと教え、基礎基本のより一層の定着を図っていきます。

3 児童質問紙調査

神奈川県・全国基準と比較して、学校・地域の特徴が表れていると考えられる項目

- 規則正しい生活（起床・就寝時刻、朝食）をしている児童が多い。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えている児童が多い。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもっている児童が多い。
- 地域の大人の人と関わっている（勉強やスポーツを教えてもらう）児童が多い。
- 算数で学習したことを日常生活の中で活用しようとしている児童が多い。
- 問題の解き方や考え方が分かるようにノートをかいている児童が多い。
- 地域行事に積極的に参加している児童が多い。

引き続き、学校生活が子どもたちにとって、成長の糧となり、仲間の大切さや、学ぶことの楽しさを味わえる場であり続けられるよう、職員一同指導・支援してまいります。また、鴨志田の地域の中でたくさんの方々に見守られ、地域の一員として成長できるよう、今後も地域と連携した教育活動を継続してまいります。